

生きつらさを感じつらさのない世の中を創る。服部龍雄文芸賞・相談文芸賞のタノシム出版


 心もからだも、
 のびのびと

A circular orange sticker with a black border. The text "TAKE FREE" is at the top, "Vol. 78" is in the center, and "2026 Autumn" is at the bottom. The sticker is placed on a background of green leaves.

農業の就労継続支援A型事業所



TANOSHIKA
密着! FARMメンバー大特集
(利用者)

ONE GO/特集コラム

苺にも不合格があるの？



ABOUT

社長コラム
嘉村がゆく！

YOKA活動

自熱！トーナメント戦開催



TANOSHIKA たのしか
ファーム

FARM

育てる喜びを 直に感じながら働く。

TANOSHIKA FARMは、楽しく農作業ができる就労継続支援A型事業所です。体力づくりやコミュニケーションを大切に、一人ひとりの得意なことや長所を伸ばすお手伝いをしています。農作業を通して、作物を育てる喜びや、仲間と協力する充実感が得られます。「人と働くって楽しい！」そう感じてもらえるよう、スタッフ一同サポートしています。

FARMのお仕事

育てる仕事、いろいろ

seeding

苗の植え付け



土に触れ、自分の手で何かを育てる喜びを感じることができます。

cultivation

栽培



日々少しずつ成長する過程を観察し様々な視点で物事を考え行動します。

weeding

草取り



常にいい土壌を保つために草取りも欠かせません。

watering

水やり



農家の方が決められた頻度で水をやり成長や変化を身近に感じられます。

harvest

収穫



自分で育てたものを収穫できます。形になる喜びが一段と高まる瞬間です。

packing

梱包



最後には育てたものを梱包し出荷します。誰かが求めているものを自分自身の手で。

タイムスケジュール

10:00

朝礼

10:15

午前の作業

12:00

お昼休憩

13:00

午後の作業

15:00

終礼

※業務内容によってタイムスケジュールは異なる場合があります。

育てる"1日"も
のぞいてみよう!

小松菜

KOMATSUNA

雨風に気にせず育てられるビニールハウス栽培。年間を通して高品質な小松菜を安定して収穫でき、夏は約20～25日、冬でも約50～60日で収穫できます。

農園でとった
私の好きな
1枚



小松菜の成長過程が
現れています!

撮影者 Kさん



Special Video

FARMの作業風景動画は

こちら



株式会社SANCYO子会社

ONE GO



日常が豊かになるあまおうを届ける

ONE GOは、株式会社SANCYOの子会社として2020年に設立されました。「本当に自分が納得したものを作りたい」という思いから、30年以上にわたりいちごを育て続けてきた築島さん。独自の栽培システムを活用し、農薬の使用を抑えながら、福岡県産の「あまおう」を大切に育てています。そして今、ONE GOは福岡で育てたあまおうを、より多くの人へ届けるための新たな一歩を踏み出します。



株式会社 ONE GO

取締役 築島 一典

来年の夏には、福岡市博多区にフルーツカフェをオープンする予定です。ONE GOのあまおうをはじめ、九州各地のフルーツや生産物を活かしたメニューを通して、九州のおいしさや魅力を多くの方へ届けていきます。さらに、青果あまおうや冷凍あまおうを全国へ展開し、海外への輸出にも取り組んでいきます。福岡・九州から日本全国へ、そして世界へ。ONE GOは、地域で育まれたおいしさをより多くの人へ届けることを目指しています。福岡で大切に育てた一粒を、全国へ、そして世界へ。ONE GOはこれからも、あまおうの可能性を広げながら、九州の豊かな食の魅力とともに、日常を豊かにするおいしさを届けていきます。

ONE GO
公式HP



Bringing Amaou to Everyday Life

TANOSHIKA × ONE GO

TANOSHIKAとONE GOが連携（農福連携）することで、複数の社会的問題を包括的に解決することができる



TANOSHIKAの理想

障がい者雇用・障がい者就労支援・就職希望の方たちに、道を開いてあげたい！



障がい者就労
雇用の機会



TANOSHIKAとONE GOの連携で 新しい価値を創造

農業の未来を支える人材づくり
誰もが活躍できる
社会の実現



ONE GOの理想

いちご農家として30年以上蓄積したノウハウを次世代の人に繋げていきたい！



人手不足
後継者不足の解消

ONE GO COLUMN

ワン・ゴー
コラム

いちごにも不合格があるの？

ONE GO のいちご畑では、毎日たくさんのいちごが育ち、収穫されています。形や色にキズ・擦れがあったり、ヘタが欠けてしまったり、受粉・受精が十分でなく小さく育った「不受精果」もあります。それでも、これらは立派に「食べられるいちご」です。私たちは、見た目の美しさを理由に捨てることなく、冷凍いちごに加工してお届けすることで、食品ロスを減らし、サステナブルな食の循環を支える取り組みを進めています。

福祉の現場も同じです。一人ひとりが異なる特性や背景を持っています。一見、不得手なことがあっても、必ず活かせる場所がある。私たちは、その活躍の場を、本人と仲間と一緒に見つけ、つくることを大切にしながら、日々の活動を進めています。



INTERVIEW

TANOSHIKA
FARMメンバー(利用者)

(40代・女性)

Oさん



今回はFARMで実際に利用者として働いているOさん(40代・女性)に色々聞いてみました!

Q Oさんにとって、FARMはどんな場所ですか?

A とにかく、すごく「居心地がいい場所」です。実は以前、体調を崩して入院し、半年ほど長期でお休みをいただいた時期がありました。それでもFARMの皆さんは温かく受け入れてくださって、「体調を見ながら、少しずつ出勤していいよ」と言ってくれました。本当にありがたかったですし、「ここに来てよかったな」と心から思えました。

Q お仕事の中で、難しさを感じる作業はありますか?

A 私は少し体が不自由で、普段から杖を使ったりしています。周りの皆さんは「無理して周りに合わせなくていいよ」と言ってくださるのですが、自分の中で気にしてしまう部分があって。その為、足元に注意したり、様々なことを気をつけています。また、作業の面では、野菜の「見極め」がまだ少し難しいですね。「どこまで傷んだ葉を取っていいか」「ここが腐っているか」という判断に、時間がかかることがあります。

Q 体力に自信がない方でも、安心して一步を踏み出せそうですね。

A そうですね。最初は不安に思うかもしれませんが、ゆっくり自分のペースで慣れていけます。私もFARMに入った当初は室内作業からスタートして、「外の作業もやってみる?」と声をかけてもらい、「やってみます!」と挑戦しました。もし「ここはちょっと難しいな」と感じたら、正直に伝えて大丈夫です。支援員の方々が臨機応変に対応してくれますし、私は虫が苦手なのですが、困っているとメンバー(利用者)さんが「あ、いたね。大丈夫、大丈夫」って助けてくれるんですよ(笑)

Q FARMで働いていて、一番嬉しかったことは何ですか?

A 未経験のことに日々挑戦できていることですね。また、一人で黙々と仕事をするのではなく、みんなと声を掛け合い、力を合わせて協力しながら作業ができること。そのようなコミュニケーションがあることが本当に嬉しいです。「大丈夫?」と気にかけてもらえるだけで、すごくありがたい気持ちになります。

Q FARMで働くようになって、ご自身の中で一番変わったと感じる部分はどこですか?

A 一番は「体力」がついたことです! 以前は少し歩くのも億劫で、正直に言うと、立っているだけでしんどい時期もありました。しかし、FARMで体を動かすようになってから、本当に体力がつきました。今では歩くことや立つことも、長時間できるようになりました。足が少し悪くても、周りのみんながしっかりサポートしてくれますし、無理をしすぎていると「動きすぎだよ! 周りに声をかけてね」とすぐに声をかけていただけるため、安心して体を動かすことができます。

Q 最後に、これから利用を考えている方にメッセージをお願いします!

A 農作業なので、季節によっては暑かったり寒かったりもします。しかし、そこはスタッフさんが臨機応変に対応してくれますし、障害があっても周りの皆さんが優しく手を貸してくれます。「自分にできるかな」という不安はあると思いますが、自分のペースで一步步進める、本当に温かい場所です。一時期、体調を崩して引きこもっていた時期もありましたが、やっぱり外に出て、日の光を浴びて、野菜がぐんぐん大きく育つ姿を見るのは、すごく気持ちがいいです。人と会って会話をすることも、本当に楽しいなと感じています。ぜひ、安心して飛び込んでください!

お父様からのコメント

本人は、労力・体力的に弱い面もありますが、責任感や意志の強さを持っていると思います。FARMへ入社後、心機一転し、新たな分野に何かを感じながら楽しんでいるようです。今後も無理なく自分のペースで、気軽に勤めてほしいです。

noteで公開中!
SANCYOの登頂記録Oさんのインタビュー
全文はこちら

Oさんの1日ルーティン





嘉村がゆく! No. 10

代表取締役
嘉村 裕太

1990年2月11日生(36歳) 水瓶座

趣味: 筋トレ・漫画

このたび第5子を授かりました。ますます賑やかな家庭になりますが、家族を大切にしながら仕事にもより一層励んでまいります。

皆様、こんにちは!

日頃より連携させていただいている支援機関の皆様には、いつも大変お世話になっております。

SANCYOの新たな挑戦

前回の記事では、SANCYOが毎年全力で取り組む「経営方針発表会」の熱気や、私たちが大切にしている「楽しさが人を動かす」というバリューについてご紹介させていただきました。

創立10周年という節目の年を迎え、SANCYOは次の10年に向けて、新たな挑戦と歩みを止めずに進んでいます。今回は、この秋からスタートする「TANOSHICAの最近の動き」として、注目の新事業所や新しい取り組みについてご報告させていただきます!

来る2026年9月1日、福岡県久留米市東町に、SANCYO初となる就労継続支援B型事業所「TANOSHICA BASE(タノシカ ベース)」をいよいよ開所いたします!

これまでSANCYOでは、就労継続支援A型事業所「TANOSHICA」を中心に、農業、清掃、クリエイティブなど様々な仕事を通して就労

支援を行ってまいりました。の中で、「働きたい気持ちはあるけれど、体調や生活リズムの面が心配で、いきなり雇用契約を結ぶのは不安…」という方々の声にも多く出会ってきました。そこで誕生したのが「TANOSHICA BASE」です。

事業所名の「BASE」には、一人ひとりが安心して立ち止まり、準備を整え、自分らしい未来に向かって歩き始めるための「土台(基地)」でありたいという想いを込めています。

☑一人ひとりの「できる」を積み重ねる

清掃や施設管理、屋外作業、地域企業と連携したお仕事など、それぞれの体調やペースに合わせた多様な仕事を用意しています。最初から多くのことができる必要はありません。通うこと、一歩を踏み出すこと、そのすべてが大切な「できる」です。

☑成長がしっかり工賃に繋がる仕組み

作業の成果や新しい挑戦がしっかりと工賃向上につながり、「自分の仕事が社会に役立っている」という実感と自信を得られる環境を作っていきます。

自分らしく働きたい方、ゆくゆくはA型や

一般就労を目指したい方など、それぞれの目指す未来に寄り添い、力を発揮できる新しい拠点を目指します!

TANOSHICAをはじめ、 広がるTANOSHICAの輪

TANOSHICA BASEの開所に加え、現在はショートステイ (LODGE) の運営や相談支援など、多角的な側面から「暮らしと働く」を一体となって支えるネットワークの強化を進めています。

地域の皆様や関係機関の皆様との連携を一層深めながら、一人ひとりが「生きづらさ・働きづらさ」を感じることなく、自分らしい選択肢を持てる社会を目指してまいります。

見学やご利用に関するご相談は、随時受け付けております。新しくスタートする「TANOSHICA BASE」、そしてこれからのTANOSHICAの挑戦に、ぜひご期待ください!

今後ともSANCYOをどうぞよろしくお願い致します。

YOKA 活動 no.04

就職活動の役立つ情報やスポーツでの交流会など、楽しいイベント盛りだくさん!

「余暇」活動の「良か」ところを、紹介するけんね!



チーム対抗で真剣勝負!

運動不足解消
スポーツクラブ開催!

TANOSHICAの全事業所から、誰でも気軽に参加ができる月一回のスポーツクラブ。今回のメインイベントは「ペア対抗バドミントン大会」!

体育館内はすっかり夏本番で、静かに立っているだけでもじんわり汗ばむ陽気でしたが、「コートの上はさらに弾むような熱気に包まれている」。

お互いに諦めないラリーが続き、力強いスマッシュが決まるたびに歓声が上がり、試合が終われば勝敗に関係なく笑顔で手を合わせ、互いをたたえ合う温かい光景が見られました。

心地よい疲れとともに、温かい満足感に包まれた一日。

素敵な夏の思い出となりました。



心も体もリフレッシュ!



Badminton

GREAT!



就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA FARM

(たのしか・ふぁーむ)

〒830-0047

福岡県久留米市津福本町

845-5

☎ 0942-38-2655

☎ 0942-80-0180 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA CREATIVE 諏訪野町

(たのしか・くりえいていぶ・すわのまち)

〒830-0037

福岡県久留米市諏訪野町1-22

ワカナセントラルプレイス 5F

☎ 0942-80-6216

☎ 0942-80-6217 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA PLUS

(たのしか・ぶらす)

〒830-0047

福岡県久留米市津福本町

1587-11

☎ 0942-27-5823

☎ 0942-27-5824 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA CREATIVE 東町

(たのしか・くりえいていぶ・ひがしまち)

〒830-0032

福岡県久留米市東町25-3

プラザビル2F

☎ 0942-65-6842

☎ 0942-65-6843 (FAX)

相談支援事業

TANOSHIKA SUPPORT

(たのしか・さぽーと)

〒830-0018

福岡県久留米市通町 5-18

イデックビル1 2F

☎ 0942-27-6063

☎ 0942-27-6167 (FAX)

本部業務

TANOSHIKA HOME

(たのしか・ほーむ)

〒830-0018

福岡県久留米市通町 5-18

イデックビル1 2F

☎ 0942-27-6163

☎ 0942-27-6167 (FAX)



ショートステイ事業

TANOSHIKA LODGE

(たのしか・ろっじ)

〒830-0038

福岡県久留米市西町1196-17 2F・3F

☎ 080-6113-9489

CHECK

公式サイトやSNSで最新の情報を発信しています! ぜひチェックしてみてください!



WEB



LINE



X (旧Twitter)



Facebook



Instagram

本広報誌(TANOSHIKA TIMES)は TANOSHIKA CREATIVE利用者がデザインを担当しております。



TANOSHIKA CREATIVE

デザイナー
Bさん・Kさん

※掲載内容については予告なく変更となる可能性がございます。(2026年10月現在の情報です)

2026年10月 TANOSHIKA TIMES VOL.18 発行